

授業科目名	音楽あそび演習		担当教員名	和田 宏一
科目区分	教職・保育に関する科目	施行規則に定める科目区分 等	大学が独自に設定する科目-保育の内容・方法に関する科目	
必修-選択/単位数	必修 / 2単位 (30時間)		授業方法/担当形態	演習 / 単独
開講学年/学期	1年 後期 (3-4期) / 年間開講数 1講座		特記事項	
授業の概要及び全体目標	保育の現場で行われている、音楽を用いた様々な「遊び」について、カテゴリー分け、遊びの種類と遊び方、指導の際の留意点など、保育の現場で音楽遊びを指導するために必要な知識と技能を、講義および演習にて学習する。			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1.音楽遊びにはどのようなものがあるか理解する。 2.習得した音楽遊びの知識および技能を、保育の現場での実践につなげることができる。 3.個々の音楽遊びのねらいを理解し、場面や年齢などの状況に応じた遊びを適宜選択することができる。 4.音楽遊びを通して、音楽に親しみ、楽しさを味わうことを保育者自ら体感し、その経験を子どもたちにも伝えることができる。 5.音楽遊びによって様々な音、体の動きや感覚が生じることを体感し、保育における音楽表現活動の重要性について理解を深める。 			
テキスト	テキストは用いない。適宜、資料を配布する。			
参考書・参考資料等	「第2版 アクティブラーニングを取り入れた 子どもの発達と音楽表現 幼稚園教諭・保育士養成課程」櫻井琴音・上谷裕子 編 (学文社)、「幼稚園教諭・保育士養成課程 音楽表現 そのまま使える基礎と実践」中野由紀子 編 (KYODO-MUSIC)、「0～5歳児の楽しくふれあう！わらべうたあそび 1 2 0」阿部直美 (ナツメ社)、「0～5歳児の手あそび・うたあそび」阿部直美 編 (ナツメ社)、「保育園・幼稚園 de ボディ・パーカッション&リズム遊び」山田俊之 (明治図書)、「1～5歳児がよろこぶ 保育ではじめてリトミック」神原雅之・伊藤仁美 (チャイルド本社)、「音楽療法・音あそび 保育園や特別支援教育にいかす」下川英子 (音楽之友社)			
成績評価の方法	レポート・提出物…60%、平常点 (受講意欲・態度) …20%、期末の模擬指導 (指導の内容・取り組みなど) …20%			
授業外 (事前・事後) 学習の方法、オフィスアワー等	事前学習については授業で指示する。事後学習はコメントシートの提出を指示する。 オフィスアワー：水曜日15:30～16:00、金曜日16:30～17:00。質問は授業時間の前後でも受け付ける。			
授業計画	授業の内容			到達目標番号
第1回	・領域「表現」と音楽あそび：領域「表現」のねらい及び内容、音楽あそびの目的とねらい、音楽あそびの種類			
第2回	・リズムを打って遊ぼう：ハンド・クラッピングとボディ・パーカッション			
第3回	・リズムを打って遊ぼう：リズム楽器あそび (リズム楽器の種類、リズム楽器の持ち方と奏法)			
第4回	・身の周りにある音を探そう：サウンド・スタンディング			
第5回	・身の周りにある音を探そう：自然素材でリズムあそび・音あそび			
第6回	・歌って遊ぼう：手あそび・歌あそび			
第7回	・歌って遊ぼう：絵描き歌、手話ソング、替え歌、わらべうた			
第8回	・楽器を作って遊ぼう：手作り楽器の制作および合奏			
第9回	・身体を動かして遊ぼう：音楽を用いたゲーム			
第10回	・身体を動かして遊ぼう：ダルクローズとリトミック			
第11回	・身体を動かして遊ぼう：子どもの歌に振り付け			
第12回	・劇あそびとオペレッタ：概要と練習			
第13回	・劇あそびとオペレッタ：練習と本番			
第14回	・音楽あそびを用いた模擬指導：立案・計画、題材の決定、練習			
第15回	・音楽あそびを用いた模擬指導：模擬指導の発表、まとめと振り返り			